

広島市植物公園

見どころ案内

フジバカマ (キク科)

中国原産の多年草。秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲き始めました。準絶滅危惧種。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。

タコノアシ (タコノアシ科)

吸盤の付いた蛸の足のように見える奇妙な花穂をつける、湿地に生える多年草です。準絶滅危惧種です。

ディモルフォル
キス・ローウィ
(ラン科)

ボルネオ原産の着生ランです。花茎は2mにも垂れ下がり、株元と花茎の先で全く違う色・形の花が咲きます。

チョウマメ (マメ科)

東南アジア原産の多年草ですが、寒さに弱く日本では一年草扱いです。青く大きな花がよく目立ちます。

特別企画展 コーヒー&
紅茶展

9月13日(土)~11月17日(月)
栽培の歴史、産地の紹介、そして実物展示、また抽出機器、製品など、コーヒーや紅茶に関するいろいろな展示をしています。
[展示資料館1階展示室にて]

カリガネソウ (シソ科)

日本各地に自生する多年草。薄紫色の花を咲かせています。虫が花に留まると、虫の背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。別名ホカケソウといひます。

ミヤマガマズミ (レンプクソウ科)

日本各地に分布する落葉低木。6月に白い小さな花をつけ、今、光沢のある赤い果実を多数つけています。

ヒガンバナの仲間

(ヒガンバナ科)

おなじみの赤いヒガンバナのほかにもクリーム色のシロバナマンジュシャゲ、黄色のショウキズイセンも咲いています。

ポポー (バンレイシ科)

北米産の落葉高木。寒さに強いので、屋外でも育ちます。今、緑色の果実を上部につけています。

オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

中国原産の落葉高木。黄色く小さい花を咲かせています。展望台に登ってみると身近に見ることができます。

ロブスタコーヒーノキ

(実) (アカネ科)

アフリカ原産の低木で、赤い実の中にある種子を煎って利用します。アラビカ種より苦味が強く、缶コーヒーやインスタントコーヒー、エスプレッソ用などに、アラビカ種とブレンドして利用します。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

